

第7回大阪大学専門日本語教育研究協議会 上級レベルの専門日本語教育－理論と実践－

背景および趣旨

昨今のグローバル化に伴い、国や地域を超えた人の動きが激化しています。大学においても、国際化をめぐる動きは一層加速しており、留学生も多数来日しています。そういった急増する留学生は、在学段階や日本語レベルがさらに多様化し、来日前に、母国等の大学やその他の教育機関での日本語学習歴を有する上級レベルの学習者は増加する一方です。上級レベルの学習者は、学部か大学院かといった在学段階や漢字圏・非漢字圏といった母語背景の差異から、各自の専門分野、およびその後の進路選択の差異によって、必要とする日本語能力も多様であると言えます。

以上のような背景をもとに、本年度の協議会においては、特に上級レベルの専門日本語教育を主なテーマとして設定し、情報や意見の共有を行い、かつ、今後の教育・研究への示唆を得たいと考えました。

第7回協議会においては、コンテンツベースの言語教育(CBI)、ビジネス日本語教育の各々の観点から、専門日本語教育への示唆について、専門家を講演者としてお迎えし、ご講演をいただきます。

また、国際教育交流センターからも上級専門日本語教育の一つの可能性として研究発表をいたします。

この機会を通じて、上級専門日本語教育の現状における問題点を共有した上で、課題と展望について活発なディスカッションが展開されることを期待しております。

講演1：内容重視の言語教育（CBI）の上級日本語教育への文脈化について

大阪大学大学院言語文化研究科 横井幸子

本発表では、内容重視の言語教育（Content-based Instruction: 以下 CBI）の、日本の大学における上級日本語教育への文脈化について考察する。語学教育という枠組みで、どのような“内容”をどのように選ぶのか？ またその内容をどのように評価に加えるのか？ 上級日本語教育という文脈における“内容”の選定と導入、評価の方法について、CBIのカリキュラム開発の手順や国内外の実践例の紹介、理論的考察を交えながら検討する。

講演2：ビジネス日本語教育の理念と実践－日本語上級レベルの場合－

政策研究大学院大学 近藤 彩

本発表では、日本語上級レベルを対象にしたビジネス日本語教育の理念と実践について述べる。日本語非母語話者が日本語を使用して仕事を行うには、どのような能力が必要か、何ができなければならないのか。日本人と共に課題を遂行するにはどうすればいいのか。国内外での企業調査、大学での教育実践、企業での研修を踏まえ開発された教材を例に、パラダイムシフトを提案する。

講演3：上級日本語教育における言語景観を活用した社会理解教育

大阪大学国際教育交流センター 磯野英治

本発表では看板やポスター、掲示物など身近にある生の日本語（言語景観）を通して、社会の諸特徴に気づき、かつ、大学で学ぶための分析力を獲得するための上級専門日本語教育について、その内容と実践を報告する。日本語上級レベルの学習者がその言語能力を生かし実生活の中で建設的、或いは批判的に社会を考察するために必要な観点を、国内外の日本語の言語景観に関する事情と授業実践から検討する。